

福島民友

THE FUKUSHIMA MINYU

第39465号 (日刊)
2014年 (平成26年)
5月10日 (土曜日)

日本名水百選
磐梯の名水仕込

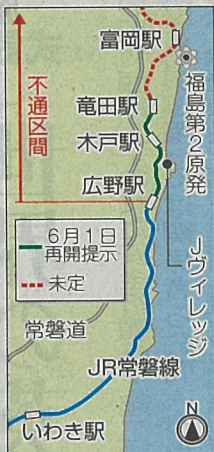
栄川
エイセン

来月1日再開で調整

避難区域で初 きょうから試運転

JR東日本

常磐線 広野—竜田間



東日本大震災と東京電力福島第1原発事故を受けて不通となっていたJR常磐線広野—竜田(榎葉町)駅間(8・5キロ)について、JR東日本が6月1日に運転再開する方向で調整していることが9日、分かった。実現すれば、原発事故による避難区域内の常磐線で初めての運転再開となる。同社は再開方針を労働組合側に提示しており、10日から同区間で試運転を開始する。

同社は本県の復興支援の一環で、避難指示解除準備区域となっている竜田駅がある榎葉町の帰町時期の判断に合わせて運転再開時期を決定する方針を示している。同社水戸支社は福島民友

新聞社の取材に対し、運転再開の目安として6月1日を労働組合側に提示したことを認める一方、正式な運転再開日は榎葉町の帰町時期が示された後決定するとした。

同支社によると、同区間は地震で盛り土が傾いて線路がゆがんだり、橋がひび割れるなどの被害に遭った。昨年8月に復旧に着手、

榎葉町の帰町時期の判断に合うよう工事を進めてきた。復旧工事に併せて線路内の除染も実施した。10日からの試運転については数十回行い、復旧工事の状況や踏切の作動など安全性を確認する方針。併せて乗務員の訓練も行う。榎葉町の松本幸英町長は「これまで町として運転再開を要望してきた。町や双葉郡全体の復興に弾みがつけ

く」と歓迎。帰町時期の判断後、町内に一時帰宅して町に戻る準備をする交通手段のない同町の高齢者らにとって利便性が高まると期待を寄せる。広野町の遠藤智町長も「町にとって常磐線の竜田駅延伸は復興への前進」と受け止めている。常磐線は、原発事故の影響や震災の津波、地震により、広野—原ノ町駅間の54・5キロと、相馬—浜吉田間の22・6キロの計77・1キロが不通となっている。

動労水戸が反対姿勢

JR東日本水戸支社から常磐線広野—竜田駅間再開を提示された同社労働組合の一つ国鉄水戸動力車労働組合(動労水戸)は「労働者に反対する姿勢を示してい

る。動労水戸は試運転の10日、いわき市のJRいわき駅前で抗議活動を行う。同労組は、同社が昨年1月に示したことに今年1月、再開中止を同社に要求している。

天気		10日		旧暦		先負		三碧	
		6	12	18	24時	11日	12日	13日	14日
福島	晴	21	12	10	30	40	20	40	50
二本松	晴	20	11	10	30	40	20	40	50
郡山	晴	18	10	10	30	40	20	40	50
須賀川	晴	18	9	10	30	40	20	40	50
田村	晴	17	8	10	30	40	20	40	50
白河	晴	19	9	10	30	40	20	40	50
相馬	晴	21	11	10	30	40	20	40	50
南相馬	晴	21	11	10	30	40	20	40	50
浪江	晴	22							

